

東山

栃木市立大平東小学校
学校だより 第7号
令和6年11月6日
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 やさしい子 考える子 たくましい子

脈々と受け継がれている「和」の心

月に一回ほど朝会とあって、校長が全校児童に話をする機会があります。2校時終了後の「いきいきタイム」の時間に全校児童が体育館に集合します。早くきた学年は静かに待ち、他の学年も静かに集合します。自然な形でよいマナーが身に付いていて素晴らしい子供たちだと感心しています。

私は「校長の話」ではなく、全校児童対象に行う「校長の授業」だと考えています。1年生から6年生を対象にした15分間の授業です。

10月30日(水)に行われた朝会では、学校にある「時計塔」の授業を行いました。

写真を示し、塔の名前を聞きました。多くの子から「時計塔」と返ってきました。子供たちが正式な名前を知っていたことに内心驚きました。

3択で塔の高さを予想させました。写真に写っている子供の身長と比較して考えさせました。多くの子が②4m80cmに手を挙げました。

何年前につくられたのか。時計塔は何歳か。3択で予想させました。これは答えが分かれましたが、③43年前が正解です。

学校ができて50年がたったので、記念にこの「時計塔」をつくったことを説明しました。つまり、学校は50+43で93年、93歳になります。

つくるのにいくらかかったのかを3択で予想させました。②180万円に多くの子が手を挙げていました。43年前に280万円をかけてたてたのですという、子供たちは驚いていました。

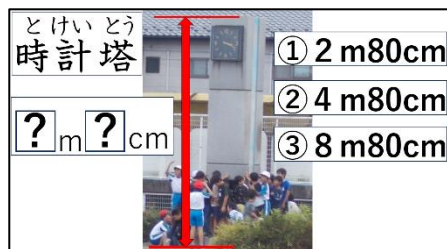
地域の方、卒業生(同窓生)、PTA、保護者の方々が出し合ったお金でつくられたことを説明しました。

創立50年の記念とはいえ、これほどの費用をかけて時計塔をつくったのはなぜか。地域の方、卒業生(同窓生)、保護者の方々の願いがこの一文字に込められています。

漢字の読み方を尋ねると、「わ」という元気な声がかえってきました。

ここが授業の本題です。

「和」にはどんな願いが込められているのか。43年前の地域の方、卒業生(同窓生)、保護者の方々の願いを考えまじょうと問いかけました。そして、近くの子と相談して考えさせました。



手を挙げた子に発表してもらおうと、「平和な学校になってほしい」「平和でけんかなどしない」など子供なりの言葉で答えてくれたので、それらを認めつつ、「大平東小の子供たちがなかよく協力して勉強や生活をしてほしい」という願いだということをお伝えしました。

「そして、この願いは皆さんにしっかり伝わっているのです。例えば、(写真を提示して) みんなでなかよく遊んでいること、なかよし班での活動、代表委員会での話合い、登校班・清掃での協力など挙げればきりがありません。」

さらに、PTA 奉仕作業やおやじの会の活動の写真を示し、「皆さんだけでなく、お父さんお母さんなどお家の人、地域の方にも和の心は引き継がれています。」

「大平東小には、このように和の心が脈々と引き継がれているのです。これからも和の心を引き継いでいきましょう。授業を終わります。」



校長室のロッカーに「50周年記念誌」が残っていました。調べてみると、時計塔のことが詳しく書かれていました。

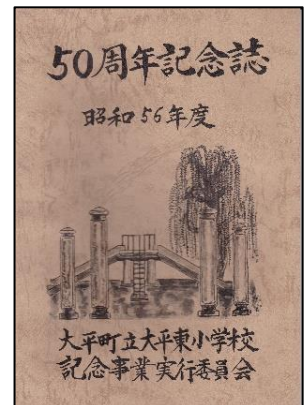
創立50周年記念事業の目標が次のように記されています。

「地域、同窓生、恩師、PTA、児童みんなが大平東小学校を中心とし、一つの輪をつくり、連帯感をもち、地域社会に奉仕する礎とする。」

何という尊い目標なのでしょう。子供たち・教職員に伝えたいと思い授業をつくりました。

さらに、保護者や地域の方にも伝えたいと考え、今こうしてパソコンに向かってるしだいです。

なお、刻字の「和」は大平町名誉町民（初代町長）田中東方氏の書を刻んだものです。



保護者や地域の方々から感想が寄せられました。紹介いたします。

「自治会の回覧板で東山を読みました。自主学习ノートという文化に大変感銘を受けました。承認欲と向上心を引き上げる取組は保護者も嬉しいと思います。新村先生もお忙しいとは思いますが、いじめ対策も含めて学校経営宜しく願います。気持ちのいい記事でした。」

メールアドレスの入力がなかったため紙面での返信になります。

【校長より】「自治会の回覧板で回ってきた学校だよりを読んでいただき、このように感想をいただけること大変うれしく思います。感謝申し上げます。自主学习ノートの取組は今後も続けていきます。子供たちもがんばっています。いじめ対策については担任だけでなく学校全体で組織的に取り組んでいます。保護者とも連携しつつ、いじめのない学校づくりに努めてまいります。地域の方からのこのようなお言葉は大変励みになります。ありがとうございます。」

メールアドレス入力欄（任意）を設けましたので、感想等をお寄せいただいた方には、私から返信するようにしています。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思っております。

「学校だより」やホームページ等へご感想・ご意見はこちらから

